

営繕のあゆみ2000



沖縄県土木建築部施設建築室

目 次

1 「営繕のあゆみ2000」発刊にあたって	1
2 特集 県営古波蔵第3団地建設工事	3
宮古警察署庁舎新築工事	8
3 主要事例掲載	
総務部	
旧議会棟跡地整備工事	12
農林水産部	14
沖縄県栽培漁業センター増設工事	
土木建築部	17
浦添大公園Bゾーン展望台新築工事	
北前海岸利便施設工事	
沖縄県総合運動公園冒険広場遠見台新築工事	
金武湾港（平安座南地区）緑地便所等建築工事	
金武湾港（宇堅地区）遊歩道付帯施設（休憩所）新築工事	
企画開発部	21
総合行政情報通信網局舎・鉄塔整備工事	
教育庁	23
辺土名高校校舎改築工事	
西原高校改築工事	
美崎養護学校校舎新築及びプール改築工事	
4 工事概要一覧表	25
5 沖縄県行政機構図	28
6 事業・予算の流れ	29
7 過去の工事件数・工事費の推移	29
8 編集スタッフ	30



特集 1 県営古波蔵第3団地建設工事



敷地現況

当該計画地は、北に小高い那覇市古波蔵市街地を形成し、東側は平坦な那覇市国場市街地、南側は緑豊かな漫湖及び漫湖公園、西側是那覇港へと続く高層建築物が建ち並び市中心部へも近い場所にある。

南側の漫湖公園は散歩や、運動等盛んに利用されており、漫湖の水辺にはヒルギ等が植えられ、公園の緑と共に水鳥や野鳥の生息空間にもなっている。

漫湖の幅は約400mあり、対岸の国道329号東バイパスでもヒルギ等が植えられ、緑化を図っている地域である。

対岸から見ると、漫湖公園のグリーンベルトの中に高層住宅がそびえる形になるが、計画地の背後地区への景観的な配慮をし、公園と一体的な活用が計れるような計画とした。

基本計画概要

計画地是那覇市のほぼ中心にあり、土地利用については建物を高層化し周辺への景観的な配慮と、沖縄の交通事情を考え、全住戸の駐車場を確保した。それと共に緑地を適切に配置し、地域の方々と交流の図れる住宅環境を形成するよう努め、漫湖公園と一体的計画となるよう、計画敷地南側の現況の歩道を拡幅し憩える遊歩道とした。



隣接する公園から見上げる



西側外観



東側外観



西側外観



隣接公園噴水越しに見る

住棟計画

建設戸数300戸、高層の1号棟、3号棟を計画地の東と西に配置し、中層の2号棟を計画地中央に配置する。1階は全てオープンスペース。住戸は2階以上とし、廊下から玄関部分は少しセットバックした位置に設け、プライバシーの確保に努めた。

突風等による人身への被害を考慮し、玄関戸は引き戸とした。

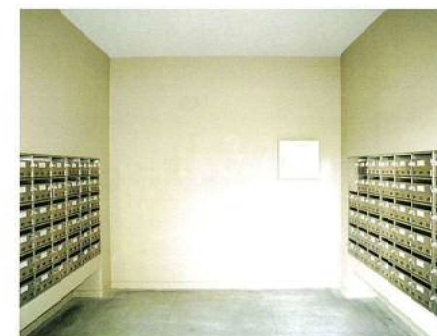
住棟配置

本計画地における住棟配置は、次の項目を検討して計画した。

- ①計画地周辺は、朝夕の周辺道路の交通量が多く、それを十分に考慮し、対岸からの景観、及び本計画地後背地からの景観に配慮した。
- ②日照計画として各住戸の主たる居室への日照時間は、4時間以上確保することを原則に住棟を配置した。屋根スラブは断熱材敷き込み、スラブ面は防水塗装の上、断熱塗装仕上げとした。住棟の配置を西側に向かないよう工夫し、西日とならないようにした。
- ③計画地周辺の外的要因として、交通騒音、車両排気ガス、公園、グラウンドからの粉塵等のようなことが予想されるが、それらを少しでも解消されるように、住棟を道路から遠ざけ又は緑地を設け樹木等にて緩衝できるようにした。



ポスト室入り口



ポスト室内部



1階エレベーターホール入口



外廊下の手すり



住戸玄関(扉)



台所・食堂・居間

工事名称：県営古波蔵第3団地建設工事

所在地：那覇市

工期：H11.3.30～H12.6.6

敷地面積：14,422㎡

延床面積：26,623㎡

総工事費：6,680,000千円

設計、監理：(有)仲本設計・金城設備事務所JV

施工者：南洋土木・共光建設・(株)唐真組JV他46社

施設計画

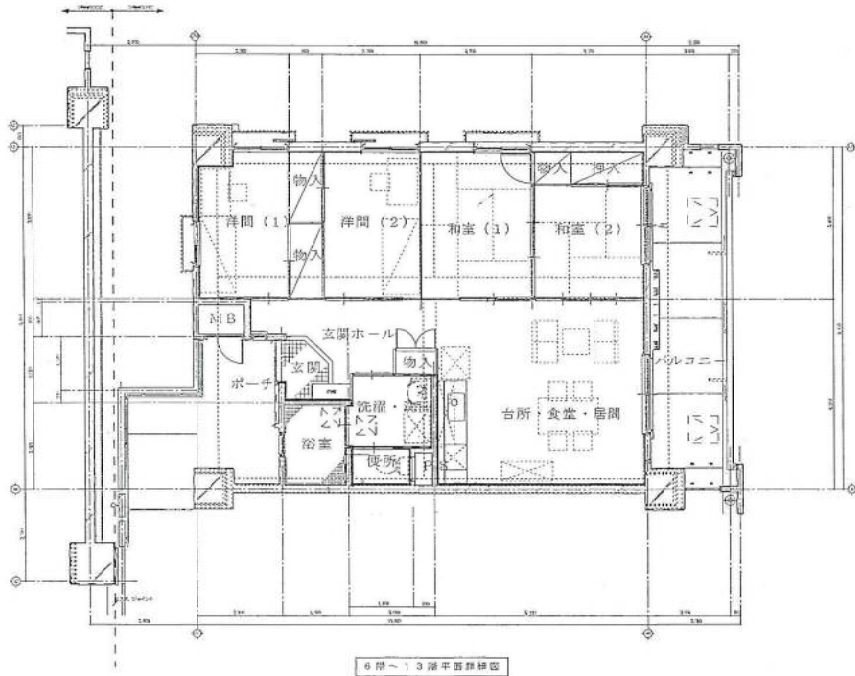
- 1) 住棟
- | | | | | |
|-----|------|-------|------------|--------|
| 1号棟 | SRC造 | 13階建て | 9,273.18㎡ | 106戸 |
| 2号棟 | R/C造 | 8階建て | 6,180.09㎡ | 68戸 |
| 3号棟 | SRC造 | 13階建て | 11,170.29㎡ | 126戸 |
| | | | | 合計300戸 |
- 駐車場棟 S 造 平屋建て 1,409.70㎡

2) 住戸タイプ

- 2LDK (34戸)
- 3LDK (242戸)
- 4LDK (24戸)
- 身障者用住戸 (9戸含む)



レリーフ



6階～13階平面図様式図

特集 2 宮古警察署庁舎新築工事



旧宮古警察署は、昭和54年に建設され築20年余りが経過し、老朽化が著しく、駐車場が不足している状況であった。今回、県道市場通り線の拡張計画により移転を余儀なくされ、警察署庁舎を新築移転することとなった。

建設場所は、宮古空港近くの幹線道路である市道中央線に面しており、付近には新築移転した宮古支庁及び宮古消防署がある。また、現市街地から宮古空港に向けて市街化が進んでおり、将来への発展性が期待される位置にある。

計画の基本方針

設計の基本的な考え方は、将来に向けての発展性を考慮し、概ね下記を基本とした。

1. 沖縄の気候風土を考慮し
2. 周辺環境と景観に調和する
3. 住民・弱者から親しまれ、利用しやすい
4. 治安機関としての、威厳と風格を備え
5. 業務遂行上の利便性を有する
6. 各室の機能性及び合理性を有する
7. 庁舎の警備、防護上の利便性を有する警察署庁舎の設計とする。



庁舎棟正面側



庁舎棟正南側



車庫棟

デザインのテーマ

宮古島の造型概観は、「平和な島」、全体が一つの大きな、平らな島として別称「大平山」といわれている。この自然景観と調和した造型として建物全体を「なだらかな小さな丘が、重なる丘」として、高く突出しないようにした。全体的に屋根(丘)の重なり、水平にのびた太い梁、これを支える太く力強い柱、格子ブロック、玄関のアーチ屋根等で、力強さと柔らかさのイメージの外観とし、個性の主張、安心感、親しみが感じられる建築造型を試みた。



3階銃剣道場



1階ロビー



待合室、カウンター

庁舎棟は、延床面積2,485㎡あり、署長室、各執務室、武道場、教育場などがある。車庫棟は、延面積430㎡で車両70台収納可能となっている。新庁舎は、ただ広くなっただけでなく、市民応接室、各種相談室、被害者サポート室やバリアフリーのカウンターなどのニーズにも対応している。